

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成19年1月11日(2007.1.11)

【公開番号】特開2005-157516(P2005-157516A)

【公開日】平成17年6月16日(2005.6.16)

【年通号数】公開・登録公報2005-023

【出願番号】特願2003-391729(P2003-391729)

【国際特許分類】

**G 0 6 T 1/00 (2006.01)**

**B 4 1 J 2/525 (2006.01)**

**H 0 4 N 1/60 (2006.01)**

**H 0 4 N 1/46 (2006.01)**

【F I】

**G 0 6 T 1/00 5 1 0**

**B 4 1 J 3/00 B**

**H 0 4 N 1/40 D**

**H 0 4 N 1/46 Z**

【手続補正書】

【提出日】平成18年11月20日(2006.11.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1の色空間の入力色信号を、前記第1の色空間と色域の異なる第2の色空間の色信号に変換する画像処理方法であって、前記第1の色空間における信号と前記第2の色空間における信号の相対位置を求める工程と、

前記相対位置を用いて色変換を行うことを特徴とする画像処理方法。

【請求項2】

前記第1の色空間、第2の色空間は多面体で表現することを特徴とする請求項1記載の画像処理方法。

【請求項3】

前記相対位置の表現には色域外縁と、もとの色信号の彩度情報を失わないように記憶する記憶手段を有し、記憶された彩度情報と色域情報の二つのパラメータに応じて前記色変換を行うことを特長する請求項1記載の画像処理方法。

【請求項4】

前記第1の色空間内の複数の代表色に対応する前記第2の色空間内の複数の目標色を記憶する記憶手段を有し、記憶された複数の目標色及び前記入力色信号に応じて色信号の変換を行うことを特徴とする請求項1記載の画像処理方法。

【請求項5】

前記入力色信号は、均等色空間で表される色信号であることを特徴とする請求項4記載の画像処理方法。

【請求項6】

前記均等色空間は、所定の色空間を含めて、任意の色信号の値を有する点の集合であることを特徴とする請求項4記載の画像処理方法。

【請求項7】

第1の色空間における特定の複数点に対し、色域の異なる第2の色空間での目標点が定められているとき、第1の色空間内における特定の複数点以外の点を第2の色空間内へ変換する画像処理方法であって、前記第1の色空間における信号の色相を前記第2の色空間における色相に合わせることを特徴とする画像処理方法。

【請求項8】

前記第1の色空間、第2の色空間は複数の四面体からなる多面体で表現することを特徴とする請求項7記載の画像処理方法。

【請求項9】

前記第1の色空間から前期第2の色空間への色変換方法は、前記第1の色空間における信号と前記第2の色空間における信号の相対位置を求める工程と、相対位置を用いて色変換を行うことを特徴とする請求項7記載の画像処理方法。

【請求項10】

前記相対位置の表現には色域外縁と、もとの色信号の彩度情報を失わないように記憶する記憶部を有し、記憶された彩度情報と色域情報の二つのパラメータに応じて前記色変換を行うことを特徴とする請求項7記載の画像処理方法。

【請求項11】

前記第1の色空間内の複数の代表色に対応する前記第2の色空間内の複数の目標色を記憶する記憶手段を有し、記憶された複数の目標色及び前記入力色信号に応じて色信号の変換を行うことを特徴とする請求項7記載の画像処理方法。

【請求項12】

第1の色空間における特定の複数点に対し、色域の異なる第2の色空間での目標点が定められているとき、第1の色空間内における特定の複数点以外の点を第2の色空間内へ変換する画像処理方法であって、前記第1の色空間における色域内部の色信号を前記第2の色空間における色域内部の色信号に変換することを特徴とする画像処理方法。

【請求項13】

前記第1の色空間、第2の色空間は複数の四面体からなる多面体で表現することを特徴とする請求項12記載の画像処理方法。

【請求項14】

前記第1の色空間内における特定の複数点と、前記第2の色空間での目標点は、それぞれの色空間における色域外縁であることを特徴とする請求項12記載の画像処理方法。

【請求項15】

第1の色空間における特定の複数点に対し、色域の異なる第2の色空間での目標点が定められているとき、第1の色空間内における特定の複数点以外の点を第2の色空間内へ変換する画像処理方法であって、前記第1の色空間における信号の彩度・明度を前記第2の色空間の彩度・明度に変換することを特徴とする画像処理方法。

【請求項16】

前記第1の色空間、第2の色空間は複数の四面体からなる多面体で表現することを特徴とする請求項15記載の画像処理方法。